

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(http://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。



第67代副議長
木村みね子



第66代議長
深山能一

議長・副議長よりご挨拶

市民の皆さまには、平素より市議会に対し深いご理解と協力を賜り、厚く御礼申し上げます。ご協力いただき、国が、急速に進む少子高齢化に、自治体の間では「都市間競争」の名の下、さまざまな施策が競われています。子育てしやすいまちづくりや、市民の皆さまが住み慣れた地域で健康で安心して暮らせるまちの実現に向けた施策を展開しております。本市議会の果たした役割と責任を引き続き支えを賜りますようお願い申し上げます。

コミュニティバス (中和倉コース) 実証運行中

平成29年12月16日(土)から、地域の外出しやすい環境づくりを目指し実証運行を行っています。
 〈中和倉コース〉
 松戸市立総合医療センター(始点)～馬橋駅～北松戸駅～松戸市立総合医療センター(終点)
 ※写真のバスのラッピングデザインは、千葉県立松戸高等学校芸術科の生徒が作成しました。
 ■問い合わせ先 街づくり部交通政策課 TEL 047(704)3996

市議会トピックス 議案第50号の審議から

健康福祉会館(ふれあい22)の賃貸借契約終了後、当該施設の土地・建物を購入するため16億円が予算計上されました。福祉行政の面からこれをやむを得ないと判断しましたが、検討の余地を残していることから、契約の適正化をはかるよう求める附帯決議を付しました。

議案第50号平成29年度松戸市一般会計補正予算(第5回)に関する附帯決議

本市議会では、これまで行財政改革の視点に立ち各種事業の見直しや廃止等を行うことで限られた財源の中、さまざまな行政課題について協議、検討を行ってきた。
 本市福祉施策の中でも、「健康福祉会館」については、保健・医療・福祉サービスのより具体的な展開を図るために設置され、地域住民への総合的な保健サービスの提供、自主的な健康づくりの活動拠点、心身の発達に不安のある子どもたちとその家族への支援、障がい者が自立した社会生活が送れるよう支援するため、人のつながりを大切にした地域社会の実現に先導的な役割を担ってきた複合型福祉施設であり、福祉行政に不可欠な施設と認識している。
 本施設の賃貸借契約は、平成30年3月末で期間満了となるが、本市にとって重要施策のひとつであることから、議会における議論において、かねてより施設を含め本事業の検証を行い、本契約について早い段階での検討に入るよう警鐘を鳴らしてきた経過がある。しかしながら、十分な検討もされないまま、今回の事態に至ったことには大変残念な思いがある。
 これまで本施設を所管する部署によって、契約締結に向けての努力をしてきたことには一定の理解をするが、厳しい財政状況の下、市全体の公共施設再編整備を踏まえた事業の再評価、再構築の視点もなく、20年間の賃貸借で地権者に支払った賃料の積算内訳や、大規模な施設修繕費など今後出費が見込まれるとする経費について、精査されないままでの購入には、理解しがたいところもある。
 事業を切れ目なく遂行するには、本件財産の取得はやむを得ないと判断をするものの、執行部におかれては、今般の16億円を限度額とする補正予算が、議決されたことにとどまることなく、購入契約の締結までは修繕箇所や費用負担を明確にするための調査・交渉を続け、契約の適正化をはかるよう求め、以下2点について決議する。

記

- 1 過去からの経過を踏まえた上で、説明責任が果たせる契約を結ぶこと。
- 2 今後は、公共施設再編整備の課題もあることから、本市にとって最適な方法を担当部局にとどまらず全庁的に検討することで、限られた財源を有効活用すること。

12月定例会

平成29年12月定例会を12月5日から21日まで開催しました。
 今定例会では、初日に市長から提出のあつた専決処分報告を承認し、公平委員会委員の選任議案および固定資産評価審査委員会委員の選任議案に同意しました。
 このほかに、市長が提出した条例などの一般議案19件、追加議案1件、市民の方等から提出された陳情3件を、それぞれの常任委員会において審査しました。
 最終日には、これらの案件のほかに議員提出議案6件を上程し、採決しました。
 (2面に審議結果、3面に主な質疑を掲載)
 なお、31人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

12月定例会 審議結果

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
市長提出議案					市長提出議案				
第28号	専決処分の報告及び承認（平成29年度松戸市一般会計補正予算（第3回）） 衆議院の解散に伴い、衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費について、緊急に補正予算の必要が生じたため措置する。	—	承認	全会一致	第43号	指定管理者の指定（松戸市小金原市民センターほか7か所） 松戸市小金原市民センターほか7か所の市民センターの指定管理者の指定期間が平成30年3月31日をもって満了するため。	教育環境	同意	全会一致
第29号	平成29年度松戸市一般会計補正予算（第4回） 市民課窓口の業務委託による経費及び関係経費について措置する。	総務財務	可決	多数意見	第44号	指定管理者の指定（松戸市勤労会館ほか8か所） 松戸市勤労会館及び松戸市常盤平市民センターほか7か所の市民センターの指定管理者の指定期間が平成30年3月31日をもって満了するため。	教育環境	同意	全会一致
第30号	松戸市安全で快適なまちづくり条例の一部を改正する条例の制定 繁華街における歩行者の安全で快適な通行を確保する必要性に鑑み、客引き行為等の規制を強化することにより、安心して暮らしやすい市民生活の実現を図るため。	教育環境	可決	全会一致	第45号	指定管理者の指定（松戸市文化会館及び松戸市民劇場） 松戸市文化会館及び松戸市民劇場の指定管理者の指定期間が平成30年3月31日をもって満了するため。	教育環境	同意	全会一致
第31号	松戸市民会館条例の一部を改正する条例の制定 市民会館の使用料に関する規定等を整理し、利用者の利便性の向上を図るため。	教育環境	可決	全会一致	第46号	指定管理者の指定（松戸駅東口自転車駐車場ほか49か所） 松戸駅東口自転車駐車場ほか49か所の自転車駐車場の指定管理者の指定期間が平成30年3月31日をもって満了するため。	建設経済	同意	全会一致
第32号	松戸市職員定数条例の一部を改正する条例の制定 職場における実配置数を増員することにより、職員の負担軽減を図り、もって子育てを応援する職場環境等の整備に資するため。	総務財務	可決	多数意見	第47号	指定管理者の指定（常盤平駅北口第1自転車駐車場） 常盤平駅北口第1自転車駐車場の指定管理者の指定期間が平成30年3月31日をもって満了するため。	建設経済	同意	全会一致
第33号	松戸市職員の公益的法人等への派遣に関する条例の一部を改正する条例の制定 一般社団法人地方税電子化協議会を新たに派遣対象団体として加え、職員の派遣を行うため。	総務財務	可決	全会一致	第48号	公平委員会委員の選任（小倉純夫氏） 本市公平委員会委員のうち、1人の任期が平成29年12月21日をもって満了するので、後任者を選任するため。	—	同意	全会一致
第34号	松戸市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定 一般職の職員の勤勉手当の支給割合の改定に準じ、市議会議員の期末手当の支給割合を引き上げるため。	総務財務	可決	多数意見	第49号	固定資産評価審査委員会委員の選任（高津明宏氏） 本市固定資産評価審査委員会委員のうち、1人の任期が平成29年12月23日をもって満了するので、後任者を選任するため。	—	同意	全会一致
第35号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定 一般職の職員の勤勉手当の支給割合の改定に準じ、市長、副市長等の期末手当の支給割合を引き上げるため。	総務財務	可決	多数意見	第50号	平成29年度松戸市一般会計補正予算（第5回） 平成30年3月31日をもって賃貸借契約が終了する松戸市健康福祉会館の用地等購入経費として措置する。	総務財務	可決	多数意見
第36号	松戸市一般職の職員の給与に関する条例及び松戸市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定 国家公務員の給与改定に準じ、俸給月額及び勤勉手当等の支給割合を引き上げるため。	総務財務	可決	全会一致	陳情				
第37号	松戸市市税条例の一部を改正する条例の制定 地方税法の改正に伴い、固定資産税及び都市計画税のわかち特例に係る特例割合の規定を整備するとともに、軽自動車税のグリーン化特例に係る適用期限を延長するため。	総務財務	可決	多数意見	第2号	日本国憲法第9条に「自衛隊の保持」を明記する「改憲」を行わないよう求める意見書の提出を求める陳情	総務財務	不採択	多数意見
第38号	松戸市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定 市営自転車駐車場に普通自動二輪車の駐車を可能とすることにより、その効率的な運用を図るため。	建設経済	可決	全会一致	第3号	生ごみ堆肥化施設の建設を求める陳情	教育環境	不採択	多数意見
第39号	松戸市下水道事業の設置等に関する条例の制定 本市下水道事業を公営企業会計に移行することにより、事業の経営状況や資産状況を的確に把握し、経営の健全化を図り、下水道事業を安定的に継続するため。	建設経済	可決	多数意見	第4号	松戸駅西口駅前通りの景観の保全を求める陳情	建設経済	不採択	多数意見
第40号	契約の変更（松戸市中央消防署建設工事） 設計時に予測不可能であった表層の地盤改良工事等の費用が新たに発生したため。	総務財務	同意	多数意見	議員提出議案				
第41号	市道路線の廃止及び認定 開発行為による道路の帰属等に伴い、市道路線の整備を行うため。	建設経済	可決	全会一致	第14号	消費税率を10%に引き上げることをやめるよう求める意見書	—	否決	多数意見
第42号	指定管理者の指定（松戸市稔台市民センター） 松戸市稔台市民センターの指定管理者の指定期間が平成30年3月31日をもって満了するため。	教育環境	同意	全会一致	第15号	「働き方改革」推進法案の提出をやめるよう求める意見書	—	否決	多数意見
					第16号	障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書	—	否決	多数意見
					第17号	原子力発電所の再稼働中止を求める意見書	—	否決	多数意見
					第18号	普天間飛行場の撤去、辺野古新基地建設の中止を求める意見書	—	否決	多数意見
					第19号	議案第50号平成29年度松戸市一般会計補正予算（第5回）に関する附帯決議	—	可決	多数意見

委員会の審査から

12月14日・18日・19日に各委員会を開催し、提出された議案等について審査しました。
 ここでは、その審査の中での主な質疑・答弁（要
 点）を掲載します。

（審議結果は2面に掲載）

※ なお、12月15日に開催した、健康福祉常任委員会では、議案等の審査がありませんでした。

総務財務常任委員会

議案第29号 平成29年度松戸市一般会計
 補正予算（第4回）

問 市民課窓口の証明書発行業務を委託することで、職員の負担が減り財政的にも軽減が図れると聞いている。一方、職員が委託職員に直接指示する偽装請負が問題になっているが、指示や命令系統をどのようにするか。

答 他自治体でも偽装請負について議論されているところであるが、対策として職員と委託職員の間をパートナーションで仕切ることにし、照合の作業だけが接点となるようにする。それ以外は仕様書で規定し、現場では代表の委託職員とのやり取りとなり、直接指示は行わないように徹底する。

問 個人情報漏えいや守秘義務についての考えは。またトラブルになったときの対応を伺う。

答 契約書における秘密の保持に関する事項を義務付け「市民課窓口業務委託仕様書」による新たな個人情報保護規定を設ける予定である。一方、窓口従事者にはセキュリティ研修を定期的に実施させ、問題がある場合には速やかな対応に努めるよう個人情報保護の対策に万全を

期したい。また、トラブルが発生したときは、国からの委託ガイドラインに基づき職員が引き継ぎ責任をもって対応していく。

議案第50号 平成29年度松戸市一般会計補正予算（第5回）

問 20年間建物を使用していると老朽化や経年劣化により修繕が必要になってくると思うが、現在修繕が必要な箇所と耐用年数が過ぎている設備はあるのか。また、契約において瑕疵担保責任を条項に入れるべきと考えるが市の見解を伺う。

答 現在、建物には使用に耐えられない状況や故障している箇所はない。修繕が必要な場合はその都度相手方に対応をお願いしており、建物には耐用年数が過ぎている設備があることは認識している。また瑕疵担保責任については、現状では契約に盛り込むことは考えていない。

問 建物に耐用年数が過ぎている箇所があれば、引き渡しの際に修繕するように交渉すべきだと思う。今後、市は議会での議論をもって相手方と交渉する考えはあるか。

答 相手方には委員会での議論の内容で、特に修繕に対して強い要望があったことは伝えたい。

教育環境 常任委員会

陳情第3号 生ごみ堆肥化施設の建設を求める陳情

問 生ごみ資源化対策について、各家庭や事業者に対して対策が行われているが、その実施状況について伺う。

答 生ごみの資源化対策については、各家庭に向けては、まずごみを出さないことが重要との考えから、食材の使いきり、食べきりを、さらには発生したごみの水切りをお願いしている。また、資源化対策では市民の自主的な取り組みが重要との考えから、家庭用生ごみ処理容器の購入への補助制度を平成元年から導入し、平成28年度末までで1万207

4件の補助を行っている。一方、事業者に向けては、多量排出事業者の減量計画書や、新規事業者のごみ処理状況届出書の提出の際に、民間の資源化事業者を活用して、食品廃棄物の資源化をしていただくよう啓発を実施している。平成29年4月現在で、49事業者が取り組み、月に60tの資源化が図られている。

議案第30号 松戸市安全で快適なまちづくり条例の一部を改正する条例の制定について

問 今回の条例改正にあたって、規制対象となる店舗等から意見・質問等があったか。また、客引き等を行わない誓約をした各店舗等にどのような支援を行い、どのような効果が期待できるか。

答 今回規制対象となる店舗等からは、意見・質問等は特段いただいた。執行、場合によっては、罰則により、1年以下の懲役、または50万円以下の罰金となっていることから、法律によって対応できると認識している。今後も松戸駅前などを中心に関係機関と協力し、改善できるように努める。

建設経済 常任委員会

陳情第4号 松戸駅西口駅前通りの景観の保全を求める陳情

問 松戸駅西口駅前通りの歩道のほり旗が立っており景観を悪くしているが、この状況を改善するため、市が取り組んできたことは。また、現在の法律で改善することは可能か。

答 松戸駅西口駅前通りの現状を改善するため、平成29年11月に道路管理者である千葉東葛飾土木事務所と協議し、のほり旗を店舗前に置いている事業者に対して指導を行った。

現在の法律において、不法占有物件に対し、行政指導、監督処分、代

議案第39号 松戸市下水道事業の設置等に関する条例の制定について

問 今後の下水道事業を運営するにあたり、下水道使用料をどう考えるか。

答 本市の下水道使用料の料金改定については、平成19年度に平均引き上げ率14・24%の値上げを実施した。しかし、料金改定以降、下水道の整備が進むにつれ、下水道使用料も年々増加し、平成28年度末における経費回収率は87・4%、うち資本費の回収率は76・3%となっている。また、近隣の下水道使用料単価と比較しても千葉県内で本市の下水道使用料単価は高い状況にあることから、値上げについては今後の推移および他市の料金改定の状況などを総合的に勘案し、慎重に検討していくことを考えている。

問 原付二種まで市営自転車駐車を場を利用できるように条例改正した理由は。

答 既存の市営自転車駐車場の効率的な運用を図るため、空きスペースがある駐車場に、新たに受け入れ対象車種を原付二種まで拡大することと、国から慢性的な自動二輪車の駐車場不足の対策として、自転車駐車場を利用するよう通知があったことから条例の改正に至った。

人事案件

公平委員会委員1人、固定資産評価審査委員会委員1人の任期満了に備え、それぞれの方の選任に同意しました。（敬称略）

●公平委員会委員

おぐら すみ お 夫
 小倉 純
 たか つ あき ひろ
 高津 明宏

●固定資産評価審査委員会委員

一般質問

12月定例会では、12月6日・7日・8日・11日・12日の5日間にわたり、31人の議員が市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

千駄堀の3施設について

無所属 中田 京

問 千駄堀地域の21世紀の森と広場、森のホール21、博物館の3施設の連携状況と交流拠点として位置づける考えは。また「ユニークベニユー」(注)博物館等で会議やレセプションを開くことで地域特性を演出でき

る会場)としての可能性を伺う。
答 千駄堀地域の3施設の連携は欠かせないものと認識しており、定期的な年4回の連絡会議を開催している。3施設の位置づけは「松戸市基本構想・まちづくりの基本方針」の中で、豊かな自然と一体となった広域的な文化交流拠点としている。また「ユニークベニユー」については3施設の魅力向上に資するものと考え、先行事例に学び実現に向けて検討していきたい。

大型商業施設開設に伴う3・3・7号の渋滞対策は

公明党

城所 正美

問 北部市場跡地に計画されている大型商業施設開設に伴い予想される、都市計画道路3・3・7号の交通渋滞解消対策は。
答 現在、本市では、道路管理者として必要な渋滞緩和対策の検討を進めている。具体的に

は、現況交通量に基づいた大型商業施設へのアクセス交通量を予測し、当該施設周辺道路の交通変化のシミュレーションを行うとともに、交通分散を図るための代替道路の選定や整備手法などを、千葉県警察本部や関係機関と協議しながら、渋滞緩和の対策について検証していく。今後は、検証結果を踏まえ、短期・中期的に実現可能な具体策について、費用対効果を含め、詳細に検討していきたい。

松戸市消防局交差点の渋滞対策について

公明党

伊東 英一

問 松戸市消防局交差点の渋滞を、今後、どのように改善していくのか。
答 当該交差点の近隣に大型商業施設などが開業されたことから、法律に基づく交通量調査が行われている。調査に基づ

き、渋滞対策として、左折レーンの付加や必要な右折滞留長の確保、さらに国道6号岩瀬交差点までのバスバース等の設置について、交通管理者である千葉県公安委員会と協議を重ねるとともに道路拡幅が必要となる用地の地権者に対して協力を求めている。今後は、松戸市消防局交差点の改良計画について、住民への説明を行い、平成30年度に詳細設計、31年度に工事着工を予定している。

子どもの発達支援の取り組みについて

公明党

岩瀬 麻理

問 発達障害の一つである、自閉症スペクトラム(ASD)の早期発見に役立つ社会性発達評価装置を、1歳6カ月児健康診査へ導入してはどうか。
答 本市では1歳6カ月児健康診査の際に、医師が発達につ

いて受診が必要と判断した場合には、子ども発達センター等への受診を勧めている。また、健診後のフォローとして、心理士による発達相談を行っており、発達や子育てについての相談体制の充実に力を入れている。社会性発達評価装置の導入については、既に導入している自治体でも補完的な利用にとどめており、今後、国や千葉県の動向を注視しつつ、その効果等を調査、研究していきたい。

核シェルターについて

まつど自民

大塚 健児

問 公共施設用地に核シェルターを設置することは、新たな用地買収もなく、財政面から見ても設置のハードルは低いと思うが、市の見解を伺う。
答 本市では、Jアラートの試験放送やホームページに北朝

鮮による弾道ミサイル情報を掲載し、万が一の場合を想定した対応を図っている。公共施設等への核シェルター設置については、核シェルターの重要性、必要性は認識しているが、予算的な面などを考慮すると難しいと考えている。今後も「弾道ミサイル落下時の行動について」の行動指針を広く市民に周知し、不測の事態に備えて、国や千葉県との情報共有、連絡体制の迅速化を図っていきたい。

伊勢丹松戸店撤退の総括について

まつど自民

小沢 曉民

問 テナント契約の事業化の調整部署は。全員協議会を開催しなかった理由は。テナント契約料の根拠および提案者は。これまでの中心市街地活性化支援についてそれぞれ伺う。
答 事業化は総合政策部と経

済振興部が中心となり調整した。また、平成29年3月、三越伊勢丹ホールディングス社長の退任により、プランが棚上げとなり、この時点での全員協議会が開催できなかった。テナント契約は、伊勢丹側から提案があったものでテナント料は、伊勢丹の他の階や近隣類似施設と比較し妥当と考えた。中心市街地活性化支援としては、各種イベントの支援を行い、来街者の増加、回遊性の向上に貢献したと考える。

梨香台団地について

公明党

鈴木 智明

問 ファミリー世帯限定の市営住宅として、梨香台団地の空き部屋を活用すべきと考えるが、市の見解は。
答 市営住宅については、以

前は直接供給が行われていたが、経済環境の変化から民間建設による借り上げが可能となった。現在、住宅ストックの過剰が懸念されており、ストック活用が必要が高まっている。そうした中、梨香台団地については、住民の高齢化や空き家が増えていることは承知しており、市営住宅としての活用は地域の活性化やストック活用にも資する複合的な効果が期待できると考えている。今後、市営住宅の再整備についてはUR団地を借り上げる方向で協議を進めていく。

色覚チェックの導入について

政策実行フォーラム

関根 ジロー

問 市立小中学校における色覚チェックの導入状況は。
答 学校では教職員が学習指

導、生徒指導等において色覚に対する正しい知識を持ち適切に指導することが大変重要と考えている。平成29年度から小中学校で使う消耗品の共同購入リストの中に色覚チェックを追加し、学校予算で色覚チェックを購入した学校を合わせると複数校で取り入れられている。その結果、学校からは「以前より文字が明るくなり、線の輪郭がはっきりする」等の声が届いている。30年度からは色覚チェックのみを共同購入リストに挙げるため、多くの学校で使用されると考えている。



松戸市保育所保育「質のガイドライン」について

政策実行フォーラム
増田 薫

問 松戸市保育所保育「質のガイドライン」の策定に至った経緯とそれによって実現したいものは何か。

答 本市では、増え続ける保育ニーズに対応するため、急速に保育施設を増やしてきた。こ

のような状況の中、保育施設の量の充足のみならず、全ての保育施設で一定以上の水準を保つ「質の高い保育」を提供するためにガイドラインを策定した。本ガイドラインによって、保育を必要とする子どもたちが、市内のどこの保育施設でも、かけがえない乳幼児期を過ごせるよう、また、そこで働く職員が子どもの育ちを喜びとして、生き生きと保育に向き合うことができるよう目指している。

児童生徒の安全対策について

公明党
石川 龍之

問 児童生徒の登下校の際に、保護者へメールが配信される仕組みを導入できないか。

答 文部科学省中央教育審議会の「学校における働き方改革」中間まとめ案において、登下校の安全確保は保護者や地域住民

等、学校以外が担うべきものとされた。このような考え方の下、保護者の責任において実施する登下校時のメール配信サービスは、保護者にとって安心が担保できる有効なシステムの一つであると考えている。これまでも民間事業者が提供するサービスについて、保護者と十分な確認を行い個別に対応してきた。今後も国の動向を注視するとともに、学校・保護者・地域と連携し、子どもの安全確保に努める。

認定ポリ袋のプライバシー保護対策は

公明党
高橋 伸之

問 平成30年度から家庭の燃やせるごみは紙袋収集を廃止し、中身が見える認定ポリ袋での収集に一本化するが、プライバシー保護の対策について伺う。

答 クリーンセンターが老朽化により稼働停止するため、家

庭の燃やせるごみは、近隣市等に焼却処理を依頼することとなり、依頼先の排出ルールに合わせ燃やせるごみ専用松戸市認定ポリ袋で収集する。認定ポリ袋は中身が見えるため、分別意識や収集作業員の安全性の向上が期待できるが、プライバシー保護を懸念する声もある。そのため、市民に対しプライバシー保護の方法を説明するとともに、認定ポリ袋の透明度を若干下げよう製造業者と調整している。

クリーンセンターの 便利施設について

公明党
諸角 由美

問 クリーンセンター稼働停止後の
便利施設の利用について、市が考える今後の対応を伺う。

答 クリーンセンター内の体育館やテニスコートなど一部の施設は解体工事までの期間は利用可能だが、温水プール、六実

高柳老人福祉センターの浴室などは、クリーンセンターの稼働停止に伴い、熱源を失うため閉鎖を考えている。しかし、平成29年6月「ごみ減量説明会」参加者からの浴室継続使用の要望、11月「クリーンセンター内施設のお風呂存続のお願い」として、利用者からの要望書を受理していることから、施設改修にかかる経費等を総合的に勘案したうえで、稼働停止後の施設利用についての検討をしていきたい。

矢切地区の 景観について

日本共産党
高橋 妙子

問 斜面林等を背景とした矢切地区農地の景観について伺う。

答 矢切地区は、農地が広がる低地部を縁取るような緑豊かな斜面林と、江戸川や坂川などの水辺が一体となり個性豊かな景観が形成されている重要な地

域と理解している。斜面林の保全として平成20年から都市緑地法による「特別緑地保全地区」に、矢切・栗山地区の約5haを対象とし、現在約3・9haが指定済みとなっており、今後も恒久的な保全のため指定を進める予定である。本市の景観形成の取り組みについては、斜面林等のみどり、水辺、眺望、歴史、農地が形成する矢切の景観の価値を共有し、保全・育成することが重要であると考えている。

新婚世帯への 支援について

公明党
松尾 尚

問 経済的な理由で結婚をためらう若者への支援の取り組みは、また、婚姻届の提出の際に簡易的なセレモニーとしての「届け出挙式」についての考えを伺う。

答 経済的理由により結婚を

ためらう若者への支援が、少子化の流れに歯止めをかけるための重要な課題であると認識している。今後は、国が展開する施策の活用も含め、関係部署と情報共有することで、本市で展開している施策との整合性を図りながら支援策を検討したい。また、「届け出挙式」には、会場や関係する団体との調整など、解決すべき課題は多いと聞くが、本市独自の思い出に残るサービ

ちょっと一息

議会の豆知識



- **定例会とは？**
市議会には、定期的に行われる定例会と必要に応じて開かれる臨時会があります。定例会では、予算や条例など議案の審議や一般質問を行います。松戸市議会では、3月、6月、9月、12月の年4回開催します。
- **常任委員会とは？**
常任委員会とは、議案や請願、陳情などを専門的、能率的に審査するために設置する委員会です。現在、松戸市議会には、総務財務、健康福祉、教育環境、建設経済の4つの常任委員会があります。※3面に「委員会の審査から」を掲載しています。



子どもの安全について

公明党
飯善 公明

問 学校区にゾーン30の積極的な設置を推進し、ドライバーへの趣旨や設置箇所の周知を図るべきと考えるが市の見解は。

答 現在13の学校区にゾーン30を設置している。さらに8つの地域から設置の要望があり、

設置に向けて準備が進んでいる地区がある一方、進んでいない地区もあることから、今後も学校・地域・関係機関と連携しゾーン30の設置に向けて努力していく。周知については、整備完了後に広報紙で行っているが、趣旨や設置場所などをホームページ等へ掲載するとともに、関係機関と連携して情報発信を行い、設置に対する機運醸成を図り、導入を進めていく。



水道事業の基盤強化に 向けた取り組みは

公明党
織原 正幸

問 水道事業新基本計画の策定を受け、具体的な基盤強化施策の立案が重要と考えるが、今後の取り組みを伺う。

答 財政面では、アセットマネジメントにおいて、水の安定供給・災害対策に留意しつつ、

施設更新基準を設け、更新費用の平準化に向けた財政収支見通しを立てた。また、供給単価と給水原価の関係は、経常収支比率等収益性を示す他の経営指標と併せて検討し、独立採算原則の下、健全経営に努めている。施設面では、経営合理化の観点から八ツ場ダム等の供用開始を見据え、スクラップ・アンド・ビルドを基本とし、今後、諸施策との整合性を図り、管路を含めた施設の耐震化を進めていく。

平和教育について

日本共産党
平田 きよみ

問 平和大使として派遣された生徒が、自校で体験を生かす機会を設けては。また、報告書の発行部数を増やし、教材として活用する考えは。

答 平和大使として、派遣された生徒がいる学校では、学校

だよりや学校集会などの配布物、全校集会や学年集会を活用し、平和大使の経験から得た知識や感想などを紹介する機会を設けている。各学校には実際に体験した生徒の報告や平和大使長崎派遣事業報告書を平和教育の一つとして活用した学習に取り組みむことを紹介していきたい。また、報告書は市内22校に3冊ずつ配布しているが、増刷については、各学校の実態を踏まえ、必要があれば今後検討していく。

馬橋駅東口について

日本共産党
山口 正子

問 馬橋駅東口へのバスの乗り入れおよび駅前広場の整備について市の見解を伺う。

答 馬橋駅東口へ接続する県道の道路幅員が狭く、歩車道が分離されおらず、通行上の安全性に問題があることや駅前広

場もバスの転回に必要な幅員が不足していることからバスの乗り入れができない状況となっている。バスが駅前に接続する必要性は十分に認識しており、実現を目指し課題解決に向けた取り組みとして、駅に近い回転場所の確保に向けた研究に合わせ、平成29年度内には街並みの更新に不可欠な地権者の意向を把握し、駅前広場等を含む都市基盤施設の整備に結びつく方策を検討していきたい。

市民が自宅以外で自主学習ができる環境の整備について

無所属
箕輪 信矢

問 コーヒーショップ等、自宅以外に自主学習できる場所を求める市民のニーズを感じるが、自主学習する環境の整備や支援について、どのように考えるか。

答 市民の自主学習に対する支援については、専用の学習室

を図書館や青少年会館に設けるほか、既存の施設を活用した対応として、公民館では休日や夏休み期間に空きのある会議室を、また、博物館では、図書閲覧コーナーをそれぞれ個人学習や読書の場として提供している。今後は、現行の利用状況や他の先進事例から自主学習に対するニーズを把握し、利用者側と施設側相互に支障のない施設提供の方法を検討し、生涯学習社会の実現に寄与したいと考える。

公共施設の放射線測定について

政策実行フォーラム
DELLI

問 公共施設放射線測定の除染基準見直しについて伺う。

答 除染基準については、関係部署への聴き取りや環境放射線低減対策会議にて見直しを検討してきた。検討の結果、子ども関係施設や学校施設の主な生

活空間およびそれに準ずる箇所では、ここ数年間放射線量に変化のない測定点を縮小するとともに、既に5cmの高さで測定している砂場やプールサイドに限らず、50cmまたは1mの高さで測定していた箇所も5cmで測定する。また、これまで測定点としていなかった主な生活空間とは認められない人が立ち入る可能性がある箇所を、新たな測定点とし地表から50cmの高さで測定する等、測定の見直しを行った。

バリアフリーのまちづくりについて

日本共産党
高木 健

問 重点整備地区の要件緩和等を含むバリアフリー法改正の検討がされているが、本市のバリアフリーのまちづくりの現状と今後の取り組みは。

答 本市では、交通バリアフ

リアフリー基本構想で、重点整備地区と位置づけた「松戸地区」と「新松戸・幸谷地区」のバリアフリー化がおおむね完了した。そのため、バリアフリー法に基づき「新八柱・八柱地区」を重点整備地区とするバリアフリー基本構想を策定した。今後のバリアフリー化も重点整備地区を中心に推進していくが、その他の地区についても国の動向を注視しながら、地域の状況に応じた順次検討していく。

東京オリンピック・パラリンピックについて

まつど自民
大谷 茂範

問 ホストタウン登録後から2020年の開催までの具体的な活動および必要となる費用について、市の考えを伺う。

答 ホストタウンの活動としてルームニアについては、七草マラソンへのアスリートの招待

森のホール21でのルームニア交響楽団の演奏会開催などの交流を行っている。ドミニカ共和国については、梨の栽培を軸とした農業技術支援、公使が市内中学校を訪問し、ドミニカ料理を紹介するなどの交流を行っている。また、必要となる費用については、交流経費の一部が特別交付税で賄われる予定なので、各競技連盟からの要望を関係機関と協議し、積極的なホストタウン交流を図っていきたい。

歯科診療業務の見直しについて

政策実行フォーラム
原 裕一

問 夜間・休日等救急医療対策事業における歯科診療業務量の現状および一日平均の診療収入と費用は。また費用対効果について市の認識を伺う。

答 平成29年度11月末現在では、歯科診療業務の診療日数は

82日で、受診者は216人、一日平均2.6人である。診療報酬による歳入153万5397円に対し歳出は1303万620円であり、診療日数一日平均に換算すると歳入1万8724円、歳出15万8910円となっている。現状では歳出が歳入を上回っているが、一般の歯科診療所が診療を行っていない休日等の診療を行う事業であるため、必ずしも費用対効果という面だけでははかれないと考えている。

防災備品の整備充実について

政策実行フォーラム
一階堂 剛

問 災害時の避難所となる小中学校等の防災備品の現状は。

答 大規模災害時における収容避難所として、小中学校等、合計106カ所を指定している。小中学校の防災備品としては、食糧や発電機等を備蓄し、体育

館の平均収容規模を800人と想定し、被害発生日一日分の備蓄を進めている。しかしながら、学校等の空きスペースの問題もあり、十分な防災備品が完備されていない。そこで、民間企業と物資の供給協定を締結し、早い段階で避難所へ配送して対応することとした。また、国、千葉県等からも支援があり、避難者だけでなく、在宅避難者が学校で物資を受け取ることも可能である。

新松戸七丁目地区と流山市木地区との接道問題

まつど市民

杉山 由祥

問 新松戸七丁目地区と流山市木地区との接道問題の現状と今後の整備スケジュールについて伺う。

答 新松戸七丁目地区においては「市道1地区826号」に交通量が集中し、非常に危険な

状況となっており、交通分散化が必要であることから、道路環境や公共交通機関の充実を考慮し、快適で安全安心な道路ネットワーク計画を策定した。今後のスケジュールについては、分散化の効果を高めるため、七丁目地区の市道3路線を供用開始する必要があると考えている。今後も早期実現に向け、地元からの意見・要望を踏まえ検討を進めるとともに、丁寧に説明し理解を求めていく。

新松戸の神明堀架橋について

無所属

山中 啓之

問 新松戸七丁目の道路ネットワーク整備における神明堀架橋について、住民の合意形成はどうか。また、差向橋から西パークハウスを抜ける市道、あかし公園南側の市道、けやき通りの3路線を同時に供

用開始とする根拠は。答 神明堀架橋をはじめ3路線を含む道路ネットワーク整備計画については、平成29年度より順次住民説明会を開催し合意形成に努めている。今後も丁寧に説明を継続するとともに、住民の意見、要望を検討していきたい。また、3路線は、さまざまな条件で交通分担のバランスを勘案した結果の整備であり、同時供用により3路線に交通を分散させることが必要と考える。

終活支援について

日本共産党

宇津野 史行

問 終活支援に対する市民ニーズをどう認識しているか。また、身寄りのない高齢者が亡くなった場合の本市の対応について伺う。

答 葬儀に関する市民ニーズの把握については、本市の葬儀

相談の中で葬儀の形態の多様化、小規模化を認識している。生前における葬儀の契約相談があった場合は、多くの市内葬儀社が生前相談等の受付をしていることから、相談者に対しては、複数の葬儀社を比較し、総合的に判断いただくよう回答している。また、高齢者を含め、身寄りがない方が亡くなった場合の葬儀については、墓地埋葬法等の定めに基づき、適切に市で火葬、埋葬を行っている。

バス停へのベンチ設置について

市民クラブ

岩堀 研嗣

問 バス停へのベンチ設置の取り組み状況と今後の予定は。また、広告付きベンチを設置したことによる反響について伺う。

答 栗ヶ沢小学校バス停にベンチが設置され、市内合計13カ所に設置が完了となった。今後

も東松戸駅前など5カ所程度に同様のベンチの設置計画がある。これらのベンチ設置は広告業者が設置主体となり、広告収入により設置と維持管理費用を充当する仕組みである。公費負担もなくバス利用者の利便性の向上だけではなく、バス利用者がいない時には高齢者の方などが外出中に休憩できるメリットもある。設置されたベンチを利用した市民からは便利になったとの声も上がっている。

市役所の移転新築について

無所属

桜井 秀三

問 松戸中央公園への市役所移転に伴う予算は。また、その用地である国有地購入の進捗状況は。

答 相模台の国有地については、松戸駅近傍に唯一残された大規模なまちづくり用地であり、

魅力ある空間を創設することで松戸駅周辺の活気やにぎわいの波及効果が期待できる可能性を秘めていると認識している。当該地区における具体的な施設や規模、整備手法や費用、さらに民間活力の活用による費用低減策、並びに周辺道路の整備については今後、検討していく。なお、国有地の購入については、財務省関東財務局と覚書を交わしており、今後、具体的な土地利用の協議を進めていく。

子育て施策について

市民クラブ

渋谷 剛士

問 子育て世代の流入促進という観点から、市外の子育て世代に向けた取り組みを伺う。

答 子育て世代への情報発信強化として、市ホームページをリニューアルした。また、本市は子育て世代をメインター

ゲットにシティブロモーションをオール松戸で取り組んでおり、平成28年度から、不動産店舗・マンション販売所に本市の紹介パンフレットや子育てガイドブックを配布している。また、29年度からは結婚式相談カウンターでのパンフレット配布を予定している。子育て世代の引越しや結婚といった住むまちを選ぶ際のライフステージを意識し、より効果的なPRを今後も展開していく。

市立病院の経営問題について

無所属

大橋 博

問 病院事業会計に対して、平成29年度は一般会計からの繰入額が40億円を超えることが予想されているが、このさまざまな赤字経営状況について、どのように責任を取るのか、病院事業管理者としての考えを伺う。

答 松戸市立総合医療センターの開院を控え、病院経営について、今までにいただいた意見を真摯に受け止めている。総合医療センター開院後は、市長の諮問機関として設置された病院運営審議会から示された、現在の市立病院移転後の上本郷跡地についての答申を踏まえたい。また、さまざまな意見を見出しながら、より良い方向性を見出し、経営改善に取り組んでまいりたい。

常任委員会名簿

～委員の変更がありました～

総務財務 常任委員会	健康福祉 常任委員会	教育環境 常任委員会	建設経済 常任委員会
◎ 幸 正 原 織 ○ 大 谷 大 高 大 高 市 杉 谷 二 階 堂 中	◎ 明 公 箸 飯 ○ 士 剛 谷 山 D E L 尚 尾 松 鈴 原 石 岩 張 桜 介 大 木 川 堀 替 井 二 裕 龍 研 勝 秀 之 龍 研 勝 秀 嗣 研 勝 秀	◎ 人 裕 松 末 ○ 美 由 角 諸 きよみ 田 平 増 鈴 箕 木 村 宇津野 城 深 小 薫 田 田 田 輪 村 所 山 沢 明 智 木 輪 信 み 正 能 一 民 矢 信 村 史 行 正 能 一 民	◎ 康 照 居 田 ○ 一 英 東 伊 口 一 根 関 岩 石 山 高 山 大 中 平 理 麻 瀬 井 中 橋 井 田 林 勇 啓 妙 栄 知 之 子 作 敏 京 彦

◎委員長 ○副委員長 ※緑色 変更のあった議員 (平成29年12月21日現在)

3月定例会の開催予定

平成30年松戸市議会3月定例会は、2月22日(木)から3月23日(金)まで、いずれも午前10時より開催する予定です。請願・陳情は、2月13日(火)正午が提出期限です。

日程	主な内容
2月22日(木)	招集日・本会議(施政方針・議案提案理由説明)
23日(金)	常任委員会(先議議案審査)
28日(水)	本会議(先議議案採決)
3月1日(木)	〃(一般質問)
2日(金)	〃(一般質問)
5日(月)	〃(一般質問・議案質疑)
6日(火)	総務財務常任委員会
7日(水)	健康福祉常任委員会
8日(木)	教育環境常任委員会
12日(月)	建設経済常任委員会
14日(水)	予算審査特別委員会
15日(木)	〃
16日(金)	〃
20日(火)	〃
23日(金)	本会議(議案等の採決)

※このほか、随時、委員会が開催される場合があります。また、開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

議会を傍聴しませんか

議会では、市民の皆さんの生活に関するさまざまな問題を取り上げて審議しています。私たち議員が、どのような活動をしているか、議会を傍聴にいらつしやいませんか。

●議会を傍聴するには

- (1) 開催当日、議会棟にて開会予定時刻の30分前から傍聴の受付を開始します。
 - (2) 受付で住所・氏名をご記入ください。
 - (3) 係員が傍聴席のご案内します。
 - (4) 手話通訳・要約筆記を希望される方は、事前にご連絡ください。
- ※車椅子等でお越しの方は、リフトのご案内ができます。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047(366)7381

声の議会だよりをご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力を得て、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物の貸し出しをしております。詳しくは下記までご連絡ください。



●問い合わせ先
松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)
TEL 047(383)7111
住所 松戸市五香西3-7-1

編集の窓

平成29年12月27日(水)、松戸市立総合医療センターが千駄堀の地にオープンしました。11月に開催された内覧会には、多数の方にお越しいただいたことから「市民待望の病院開院」と感じております。

今後は、こうした市民の皆さまの病院への期待に応えられるよう、病院経営問題をはじめ東松戸病院、上本郷の市立病院跡地の活用策等を含め、病院改革に市・病院・議会が一体となって取り組んでまいりたいと考えております。本年もよろしくお願いたします。



次回発行予定は5月1日(火)です。

松戸市議会の情報をホームページで公開しています。

松戸市議会のホームページへ
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html>



議会中継



松戸市議会

検索

本会議の様子は、松戸市ホームページのまつど市議会の「インターネット議会中継」からご覧いただけます。パソコンだけでなく、スマートフォン・タブレット型端末でも視聴が可能となりました。

ライブ放映は、本会議開始から終了まで議場の様子を放映します。ライブ放送終了後は、会議開催日の翌日夜から録画を公開しています。

また、「松戸市議会会議録検索システム」では、過去の会議録も公開していますので、どうぞご利用ください。

インターネット放映アクセス件数419,737件
(平成17年6月開設～平成29年12月末)